

ご利用規則

ホテルグランバツハ熱海クレッシェンド(以下「当ホテル」とします)では、お客様に安全かつ快適にご利用いただくために、宿泊約款第10条に基づき次の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。この規則をお守りいただけない時は、約款第7条及び第18条により、ご宿泊ならびにホテル内諸施設のご利用をお断り申し上げ、かつ当ホテルが被った損害をご負担をいただく事もございますので、特にご留意くださいますようお願い申し上げます。

客室ご利用について

1. 客室からの避難経路図は、客室入口ドアの裏側に掲示してありますのでご確認ください。
2. 在室中及び就寝の際は、必ずドアの「ドアガード」をお掛けください。
3. 客室内では暖房用・炊事用などの火気等をご使用にならないでください。
4. 客室内での喫煙はなさないでください。
5. ランプシェードに衣類を掛けたり、洗濯物等を干したりしないでください。
6. その他火災の原因になるような行為をなさないでください。
7. バスルームにて、バスタブへの湯張り中、仮眠やそのほかの事由により開栓を放置しますと、湯がオーバーフローし、重大な漏水事故となりますので、ご注意ください。
8. 客室をホテルの許可なく営業行為・事務所・パーティーなど宿泊以外の目的にご使用なさないでください。
9. ホテルの許可なく客室内の備品を移動したり又は客室内に造作を施し、あるいは改造したりしないでください。客室内の小物、備品は客室外に持ち出さないでください。
10. ホテルの外観を損なうようなものを窓側におかないでください。

客室の鍵について

1. ご滞在中お部屋からお出かけの際は、鍵をお持ちになり施錠をご確認ください。
2. ホテル内のレストラン・バーのご利用に際し、会計伝票にご署名される場合はご宿泊客室の鍵を係員にご提示ください。
3. 鍵は、当ホテル出発の際必ずフロントへご返却ください。

来訪者について

1. 来訪者があった時は「ドアガード」を掛けたままドアを開けるか、ドアスコープでご確認ください。
2. 来訪者と客室内でのご面会は、ご遠慮願います。宿泊登録者以外のご宿泊は固くお断りいたします。

お支払いについて

1. お会計はご出発の際、フロントでお願いいたします。なお、ご滞在中でも料金のご精算をお願いする場合がございます。その都度お支払いをお願いいたします。当ホテルが請求してもお支払いがない場合は、お部屋を明け渡していただく場合がございます。
2. ご利用代金のお支払いは、現金または旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等、および当ホテルの認めたものとさせていただきます。
3. 到着時にクレジットカードの確認をさせていただくか、お預かり金を申し受ける場合がございますので、あらかじめご了承ください。
4. ご宿泊者以外の方から料金のお支払いを受ける場合は、定められた期日までにお支払いがなければ、ご宿泊者ご本人に直接お支払いをご請求申し上げます。
5. お買い物代、切符代、タクシー代、郵便切手代、荷物送料等のお立替えはお断りさせていただきます。

貴重品、お預かり品について

1. ご滞在中は現金、有価証券、貴金属その他の高価品の保管については客室内に備え付けのセーフティボックス(無料)をご利用ください。
2. ご滞在の有無にかかわらずフロントでは、現金、貴重品、有価証券、腐敗あるいは破損しやすいものなどはお預かりいたしません。万が一上記場所にて現金、貴重品、有価証券、腐敗あるいは破損しやすいものなどの紛失、盗難が発生した場合、あるいは変質が生じた場合には当ホテルでは当ホテルの故意または重大な過失がある場合を除き、その責任を負いません。
3. 当ホテルがお客様よりお預かりした物品の引き渡しについては、引換証をお持ちいただいた方のみお渡しいたします。紛失・盗難等、原因の如何を問わず、引換証を無くされた場合に生じた損害につきましては、責任を負いません。また、引き渡し後の物品の紛失等については責任を負いません。
4. ホテル内での遺失物の処理は一定期間等ホテルが保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。

暴力団および暴力団員並びに公共の秩序に反するおそれのある場合について

1. 暴力団、暴力団員、暴力団関係団体、または関係者、その他反社会的勢力の当ホテルの利用はご遠慮いただきます。(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします)
2. 反暴力団、または暴力団員が事業活動を支配する法人、その他団体およびその構成員の当ホテルの利用はご遠慮いただきます。

(ご予約後、あるいはご利用中にその事実が判明した場合には、その時点でご利用をお断りいたします)

3. 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求およびこれに類する行為が認められる場合、直ちに当ホテルのご利用をご遠慮いただきます。また、かつて同様の行為を当ホテル、若しくは他のホテルで行ったと認められる場合は、ご利用をご遠慮いただくことがあります。
4. 当ホテルを利用する方が心身耗弱、薬品、飲酒による自己喪失など、ご自身の安全確保が困難な時や、他のお客様に危険や恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められるときは、直ちにご利用をお断りいたします。
5. 館内および客室内で大声、放歌および喧嘩な行為その他で他のお客様に嫌悪感を与えたり、迷惑を及ぼしたり、また賭博や公序良俗に反する行為のあった場合には、直ちにご利用をお断りいたします。その他上記各事項に類する行為のあるときは、ご利用をお断りいたします。

ホテル内では他のお客様の迷惑になる下記の物の持込又は行為はご遠慮願います。

1. 犬・猫・小鳥その他の愛玩動物。(但し盲導犬、介助犬は除く)
2. 発火または引火性のもの。
3. 悪臭を発するもの。
4. その他法令で所持を禁じられているもの。
5. とばくや風紀を乱すような行為又は他のお客様に迷惑になるような言動。
6. 客室に備付けのパジャマ、スリッパなどで客室外に出られること。
7. 備付品の移動又は使用目的以外のご利用。
8. ホテル建造物、家具、備品、その他物品の損傷、汚染、または紛失。
9. ベランダから物品をお投げになること。
10. ホテル外から飲食物の出前をお取りになること。
11. 広告、宣伝物の配布、物品の販売等。
12. ホテル内でホテルの許可なく撮影されること、および撮影された写真や映像等を営業目的で使用すること。
携帯電話の使用にあたり、適切でない場所での会話や大声での通話等、他のお客様に嫌悪感や迷惑を及ぼす行為。